

## 第3学年社会科学学習指導案

指導者 豊里中学校 教諭 中津川 英樹

### 1 単元名 国民生活と福祉

### 2 単元目標

- ・財やサービスを提供する，政府の経済的役割について理解させる。
- ・財政や租税の役割について，主権者として関心を持ち，より良い社会を目指すための制度の在り方を考えさせる。
- ・少子高齢化への対応や環境の保全，日本の経済発展など，経済上の諸問題に関心を持たせ，財源の確保と配分という観点から多面的・多角的に考察させる。

### 3 指導計画（7時間扱い）

時 間	題 材 名
第1時（本時）	政府の経済活動と租税
第2時	政府の役割
第3時	社会保障のしくみ
第4時	少子高齢化と財政
第5時	公害の防止と環境の保全
第6時	世界の中の日本経済
第7時	学習の補充と発展

### 4 本時の指導

#### （1）題材名 「政府の経済活動と租税」

#### （2）ねらい

- ・租税の仕組みと働きについて理解する。（知識・理解）
- ・国や登米市の財政状況を踏まえ，より良い税制の在り方について，根拠をもって考えることができる。（思考・判断・表現）

#### （3）準備物

生徒：教科書・ノート・資料集

教師：教科書・資料集・自作資料

#### （4）評価

- ①租税の仕組みと働きについて理解することができたか。（知識・理解）
- ②より良い税制の在り方について，納税者などのさまざまな立場から公正に判断できたか。  
(思考・判断・表現)

(5) 指導過程

段階	学習活動と予想される反応	指導及び教師のかかわり
導入	家庭学習（登米っ子）の確認 課題 ①私たちはなぜ税金を払うのか，その理由を書きなさい。 ②国及び登米市の歳入予算案のグラフから財政上の問題点を指摘しなさい。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会資本の充実や福祉の向上に役立てられていること，国民の義務であることを確認する。</li> <li>・財政難，借金依存の現状と税収確保の重要性に気づかせる。</li> </ul>
展開	本時の学習課題を確認する Aさんはどんな税をおさめているか確認しよう。 課題に取り組む <ul style="list-style-type: none"> <li>・配布資料からAさんが納めている税の種類を読み取る。</li> <li>・読み取った税を国税と地方税，直接税と間接税で分類する。</li> <li>・累進課税制度について知る。</li> </ul> 税金を増やすために，どの税を増やせばよいだろう。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の考えとその根拠をノートにまとめる。</li> <li>・班ごとに意見交換を行う。</li> <li>・全体で意見交換を行う。</li> </ul> <志教育の視点> 日本より良い未来を自己とのかかわりを通して考えている。(かかわる)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料：Aさんの給与明細，自動車税納付書，コンビニで買い物した際のレシート。レシートは消費税3%当時のものを使用し，生徒に指摘させたい。</li> <li>・国税と地方税，直接税と間接税の意味を確認しながら取り組ませる。</li> <li>・資料から読み取った所得税を例に，累進課税制度について説明する。</li> </ul> ※評価①  <ul style="list-style-type: none"> <li>・どの税を選んだかだけでなく，なぜ選んだかという理由が大切であることを強調する。</li> <li>・話し合いをとおして，直接税，間接税それぞれの特色に気づかせたい。また，様々な立場からの考えに触れさせたい。</li> </ul> ※評価②
終末	学習内容を整理する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・問題練習に取り組む。</li> </ul> 次時の学習課題（登米っ子）を知る。	※評価①